

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2008年4月1日 至 2008年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	29,862
減価償却費	136,290
減損損失	2,123
のれん償却額	8,671
引当金の増減額(▲は減少)	▲11,442
受取利息及び受取配当金	▲9,099
支払利息	9,711
持分法による投資損益(▲は益)	4,932
固定資産廃棄損	3,333
投資有価証券売却損益(▲は益)	▲2,907
売上債権の増減額(▲は増加)	197,091
たな卸資産の増減額(▲は増加)	▲36,362
仕入債務の増減額(▲は減少)	▲162,396
その他	▲31,652
小計	138,155
利息及び配当金の受取額	14,278
利息の支払額	▲12,128
法人税等の支払額	▲18,176
営業活動によるキャッシュ・フロー	122,129
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	▲87,917
有形固定資産の売却による収入	5,617
無形固定資産の取得による支出	▲30,502
投資有価証券の取得による支出	▲10,934
投資有価証券の売却による収入	12,331
その他	▲2,814
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲114,219
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(▲は減少)	67,166
長期借入れによる収入	182
長期借入金の返済による支出	▲429
社債の発行による収入	40,703
社債の償還による支出	▲81,975
配当金の支払額	▲13,070
その他	▲22,257
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲9,680
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲394
現金及び現金同等物の増減額(▲は減少)	▲2,164
現金及び現金同等物の期首残高	547,844
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	8,772
現金及び現金同等物の四半期末残高	554,452

当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

#### (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

#### (5) セグメント情報

##### 【事業の種類別セグメント情報】

①当第2四半期[直近3ヶ月]（自 2008年7月1日 至 2008年9月30日）

（単位：百万円）

	テクノロジーソリューション	ユビキタス プロダクト ソリューション	デバイス ソリューション	その他	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	800,360	218,172	164,433	93,538	1,276,503	-	1,276,503
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	26,652	31,419	14,153	34,991	107,215	▲ 107,215	-
計	827,012	249,591	178,586	128,529	1,383,718	▲ 107,215	1,276,503
営業利益	49,173	▲ 1,090	▲ 2,527	2,610	48,166	▲ 15,436	32,730

②当第2四半期[累計]（自 2008年4月1日 至 2008年9月30日）

（単位：百万円）

	テクノロジーソリューション	ユビキタス プロダクト ソリューション	デバイス ソリューション	その他	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,474,035	461,422	325,764	192,561	2,453,782	-	2,453,782
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	50,886	60,026	25,219	68,109	204,240	▲ 204,240	-
計	1,524,921	521,448	350,983	260,670	2,658,022	▲ 204,240	2,453,782
営業利益	57,378	8,886	▲ 7,313	7,794	66,745	▲ 28,203	38,542

注1) 事業区分は製品・サービスの種類及び販売方法等の類似性を考慮して区分しております。

2) 各事業の主要製品・サービスの内容は以下のとおりです。

##### 1. テクノロジーソリューション

システムインテグレーション（システム構築）、コンサルティング、専用端末装置（ATM、POSシステム等）、アウトソーシングサービス（情報システムの一括運用管理）、ネットワークサービス（情報システムに必要なネットワーク環境の提供及びネットワークを利用した各種サービスの提供）、システムサポートサービス（情報システム及びネットワークの保守・監視サービス）、情報システム及びネットワーク設置工事、各種サーバ（メインフレーム、UNIXサーバ、基幹IAサーバ、PCサーバ）、ストレージシステム、各種ソフトウェア（OS、ミドルウェア）、ネットワーク管理システム、光伝送システム、携帯電話基地局

##### 2. ユビキタスプロダクトソリューション

パソコン、携帯電話、HDD（ハードディスクドライブ）、光送受信モジュール

##### 3. デバイスソリューション

LSI（ロジックLSI）、電子部品（半導体パッケージ、SAWデバイス等）、機構部品（リレー、コネクタ等）

##### 4. その他

オーディオ・ナビゲーション機器、自動車制御用電子機器、プリント板

3) 24ページ「4. その他 (2) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」（連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用、完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更）に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より会計処理基準を変更しております。なお、これらの変更による各セグメントへの影響は軽微であります。

## 【所在地別セグメント情報】

①当第2四半期[直近3ヶ月]（自2008年7月1日至2008年9月30日）

（単位：百万円）

	日本	EMEA	米州	APAC・中国	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	888,866	168,425	101,087	118,125	1,276,503	-	1,276,503
(2) セグメント間の 内部売上高	134,807	2,740	5,480	91,403	234,430	▲ 234,430	-
計	1,023,673	171,165	106,567	209,528	1,510,933	▲ 234,430	1,276,503
営業利益	42,113	1,647	500	4,333	48,593	▲ 15,863	32,730

②当第2四半期[累計]（自2008年4月1日至2008年9月30日）

（単位：百万円）

	日本	EMEA	米州	APAC・中国	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,692,946	332,754	201,828	226,254	2,453,782	-	2,453,782
(2) セグメント間の 内部売上高	257,311	5,031	10,412	172,568	445,322	▲ 445,322	-
計	1,950,257	337,785	212,240	398,822	2,899,104	▲ 445,322	2,453,782
営業利益	62,055	242	1,460	5,120	68,877	▲ 30,335	38,542

注1) 国又は地域の区分は地理的近接度及び事業活動の相互関連性を考慮して区分しております。

2) 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

1. EMEA（欧州・中近東・アフリカ）…………… イギリス、スペイン、ドイツ、フィンランド、オランダ
2. 米州…………… 米国、カナダ
3. APAC（アジア・パシフィック）・中国…………… オーストラリア、タイ、ベトナム、フィリピン、シンガポール、韓国、台湾、中国

3) 24ページ「4. その他 (2) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」（連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱いの適用、完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更）に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より会計処理基準を変更しております。なお、これらの変更による各セグメントへの影響は軽微であります。

## 【海外売上高】

①当第2四半期[直近3ヶ月]（自2008年7月1日至2008年9月30日）（単位：百万円）

	EMEA	米州	APAC・中国	計
I 海外売上高	184,779	118,215	143,269	446,263
II 連結売上高				1,276,503
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	14.5	9.3	11.2	35.0

②当第2四半期[累計]（自2008年4月1日至2008年9月30日）（単位：百万円）

	EMEA	米州	APAC・中国	計
I 海外売上高	363,630	232,038	275,048	870,716
II 連結売上高				2,453,782
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	14.8	9.5	11.2	35.5

注1) 国又は地域の区分は地理的近接度及び事業活動の相互関連性を考慮して区分しております。

2) 各区分に属する主な国又は地域

1. EMEA（欧州・中近東・アフリカ）…………… イギリス、スペイン、ドイツ、フィンランド、オランダ
2. 米州…………… 米国、カナダ
3. APAC（アジア・パシフィック）・中国…………… オーストラリア、タイ、ベトナム、フィリピン、シンガポール、韓国、台湾、中国

3) 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

4) 24ページ「4. その他 (2) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」（完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更）に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より会計処理基準を変更しております。なお、この変更による各セグメントへの影響は軽微であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

## ① 剰余金の配当

2008年5月23日開催の当社取締役会決議に基づき、第1四半期連結会計期間に剰余金の配当を行った結果、利益剰余金が10,345百万円減少しております。

## ② 海外連結子会社の国際財務報告基準（IFRS）適用

当社グループの海外連結子会社においては、2005年度の英国のFujitsu Services Holdings PLC（その連結子会社を含む）を始め、オーストラリア、シンガポールの子会社等で国際財務報告基準（以下、IFRS）を適用済でしたが、第1四半期連結会計期間より全ての海外子会社に適用いたしました。第1四半期連結会計期間より新たにIFRSを適用した海外子会社においては、会計処理基準の変更に伴い過年度に遡って会計処理が変更され、当連結会計年度の期首の利益剰余金が1,585百万円減少しております。

## ③ 連結子会社の増加

主に㈱PFU、㈱富士通エフサス、富士通エフ・アイ・ピー㈱の非連結子会社を第1四半期連結会計期間より連結子会社としたことにより、利益剰余金が7,027百万円増加しております。